

平成 23 年度 M 1

医療概論Ⅰ「人間性教育」 & 医療福祉現場でのふれあい等
(早期体験学習 Early Exposure)

オリエンテーション 資料

日 時 : 4 月 11 日 (月) 13 : 00 ~ 14 : 05
場 所 : 臨床講義室 A

オリエンテーション

日 時 : 4 月 11 日 (月) 13 : 00 ~ 14 : 05
場 所 : 臨床講義室 A

1. 医療概論 I 「人間性教育」について 13 : 00 ~ 13 : 15

コース Coordinator : 大久保一郎 (社会医学系)
大原 信 (臨床医学系)

開講期間 M1 : 1 学期、水曜日 4、5 時限
金曜日 3 ~ 5 時限

2. 医療福祉現場でのふれあい等 (早期体験実習) について 各ユニットのガイダンス 13 : 15 ~ 14 : 05

コース Coordinator : 大久保一郎 (社会医学系)
大原 信 (臨床医学系)

- | | |
|---------------------------------|-------------|
| 1) 早期体験実習について | 13 : 15 ~ |
| | 大原 信 |
| 2) ユニット # 2 病院見学実習 | 13 : 20 ~ |
| | 大原 信 |
| 3) ユニット # 1 医療・福祉現場でのふれあい | 13 : 25 ~ |
| | 柳 久子 |
| 4) ユニット # 3 コミュニケーション実習 | 13 : 30 ~ |
| 5) ユニット # 7 地域医療実習 | |
| | 前野 哲博 |
| 6) ユニット # 4 リハビリテーション部、救急実習 | 13 : 40 ~ |
| | 水谷 太郎、江口 清 |
| 7) ユニット # 5 高齢者/妊婦模擬体験実習、入院体験実習 | 13 : 50 ~ |
| | 渡邊 雅彦、瀬尾 由広 |
| 8) ユニット # 6 研究室紹介 | 14 : 00 ~ |
| | 榊 正幸 |

開講期間 M1 : 1 学期、火曜日 5 ~ 7 時限 (5 月 2 日のみ月曜実施)

チュートリアル学習の進め方についてのガイダンス

高屋敷明由美

日時 : 4 月 13 日 (水) 13 : 45 ~ 15 : 00

場所 ; M1 講義室

目 次

1. 医療概論Ⅰ「人間性教育」について	1
2. 医療福祉現場でのふれあい等（早期体験実習）について	
スケジュール 及び 担当教官	5
実習用グループ別名簿	6
入院体験実習名簿	7
病院実習に置ける必要な態度	8
医療・福祉現場でのふれあい等 の概要	9
コース Coordinator : 大久保一郎（社会医学系）、大原 信（臨床医学系）	
ユニット#1 医療・福祉現場でのふれあい	10
サブユニット#1 附属病院ふれあい実習	<u>筑波大学附属病院</u>
Coordinator : 柳 久子、奥野 純子（社会医学系）	
サブユニット#2 福祉施設等でのふれあい実習	<u>学外福祉施設等</u>
Coordinator : 柳 久子、奥野 純子（社会医学系）	
サブユニット#3 外来新患エスコート実習	<u>筑波大学附属病院</u>
Coordinator : 大久保 英樹（臨床医学系）	
ユニット#2 病院見学実習	14
	<u>筑波大学附属病院</u>
Coordinator : 大原 信（臨床医学系）	
ユニット#3 コミュニケーション実習	16
Coordinator : 前野 哲博、木澤 義之（臨床医学系）	
ユニット#4 リハビリテーション部、救急実習	18
サブユニット#1 リハビリテーション部実習	<u>筑波大学附属病院</u>
Coordinator : 落合 直之、江口 清（臨床医学系）	
サブユニット#2 救急実習	<u>学群棟3階 4A303</u>
Coordinator : 水谷 太郎、安田 貢（臨床医学系）	
ユニット#5 高齢者/妊婦模擬体験・入院体験実習	19
サブユニット#1 高齢者/妊婦模擬体験実習	<u>学群棟1階 4A104</u>
Coordinator : 渡邊 雅彦（臨床医学系）	
サブユニット#2 入院体験実習	<u>筑波大学附属病院</u>
Coordinator : 瀬尾 由広（臨床医学系）	
ユニット#6 研究室紹介	22
	<u>学群棟2階 4A204</u>
Coordinator : 桝 正幸（基礎医学系）	
ユニット#7 地域医療実習	23
	<u>学外医療施設</u>
Coordinator : 前野 哲博	
筑波大学附属病院建物配置図、外来案内、病棟電話簿	24・25・26

【1】 医療概論Ⅰ「人間性教育」(Humanity Education)

コース Coordinator : 大久保一郎・大原 信

開講期間	1 学期	水曜日・4～5 時限 金曜日・3～5 時限
場 所	4 階セミナー室等	

1. 一般學習目標

- ・ 将来医師になる者としての自覚を持ちながら学習をする態度を身につけるために、医療の様々な側面を知り、患者の思いや立場に配慮しながら学ぶことの大切さを理解する。
- ・ テュートリアル学習を行う上で基本となるグループ討論、自己学習、レポート作成の方法を習得する。

2. 學習行動目標

- 1) 医療の目的、目標、必要性を述べる。
- 2) 医療の目標の高さ、崇高さ、困難さを述べる。
- 3) 患者にとって、身体・生活・人生、全てが医学・医療に大きく影響を受けることを説明する。
- 4) これから医学を学び、医療の専門職者を目指す者として個人を越えた目標を述べる。
- 5) 社会における医療の位置付けを説明し、最近の主な医療に関する社会的な問題の概要を列挙することができる。
- 6) グループ討論において、自分の意見を述べ、相手の意見を積極的に聞いて議論に参加し、メンバーの一員としての役割を果たす。
- 7) 自ら疑問点・問題点を挙げ、それを明らかにするための方法を述べることができる。
- 8) 学んだことを他者にわかりやすく説明する。
- 9) 医学生として、積極的に自己学習しようとする姿勢をもつ。
- 10) 基本的なレポートの構成を理解し、作成ができる。

3. 授業時間 及び 教室

【授業時間】 1 学期：水曜日 4～5 時限 金曜日 3～5 時限
【教 室】 学群棟 204 および 4 階セミナー室・1 階ゼミ室など

4. 授業方法

小グループによるテュートリアル授業：平成23年4月13日（水）～6月24日（金）
教科書および参考図書（オリエンテーションで紹介）を活用して、コアタイム・グループ討論にのぞむ。

教科書 新医学概論 森岡恭彦、村上陽一郎、養老孟司編著 産業図書

《各テーマの学習の進め方》

計5テーマについて、各々下記の流れで学習する。

テーマ毎に2回のコアタイムと、複数回のグループ討論・自習からなる。

(第5テーマはコアタイム1回のみ) グループメンバー表および教室は、事前にM1掲示板上で確認する。

具体的な進め方は4月13日（水）4時限のオリエンテーションで説明するので必ず出席すること。

* コアタイムとは？

チューター（討論や学習の進め方のアドバイスを行う教員）が同席して討論を行う時間

- ① コアタイム〇-1【〇はシナリオNo.】（チューターつき）：
各テュートリアル室グループメンバー間で自己紹介を行ったのちに、配布されたシナリオにもとづき、討論する。
- ② コアタイム後の自習：コアタイム1であげた学習項目について情報収集・自己学習を行う。
- ③ グループ学習（共有）（チューターなし）：自習で個別に学んだことを共有・確認し合う。分かったことから課題に戻り、更に調べることを討論する。
- ④ コアタイム〇-2【〇はシナリオNo.】（チューターつき）：
冒頭で、グループで実施したこと（共有できたこと、残された課題）をチューターに報告する。自習で学んだことを共有した上で、討論を深める。（テーマ5はコアタイム2の設定なし）
- ⑤ レポート作成：ポートフォリオの整理、レポート作成（テーマ5はポートフォリオなし）
 - ・レポートは自分の言葉でまとめる。資料のコピーアンドペーストは禁止（部分的なコピーも）、図表などを引用した場合には引用文献を記す
 - ・ワープロソフトを用いて作成する

《全体演習について》

全体演習1 4月20日（水）4・5時限

- ・2～3人グループ（テーマ1のグループ内で分ける）でテーマ1のレポートを、学生間で相互評価し、提出に向けての修正を行う。
- ・テーマ1レポートを作成して、持参すること。

全体演習2 5月18日（水）4・5時限

3人グループで

- ・テーマ1～2における学習方法を振り返り討論する。
- ・既に提出したテーマ1、2のレポートの写しを持参すること。
- ・テーマ4のプレシナリオを配布し、事前の全体討論を行う（テーマ4のコアタイム1は、演習での討論を踏まえて行う）。

《発表会について》

日 時： 6月24日（金）3～5時限

場 所： 臨床講義室A

- ・各自、第1～4テーマのうち、最低1テーマの発表会に関わることになる。
- ・発表は各グループ発表10分、質疑5分、パワーポイントを使用する。
- ・発表会のスケジュール、テーマごとの発表担当グループ、および当日の司会・タイムキーパー担当者は、第5テーマのコアタイム（6月10日）終了後に掲示する。発表担当を確認の上、グループメンバーと協力して準備を進めて下さい。

5. 医療概論 I 『人間性教育』の提出物について

1) コアタイム・グループ討論概要報告書（グループで1枚）

- ・コアタイム概要報告書は、終了直後にチューターのサインを得た上で、提出する。
- ・グループ学習（共有）概要報告書：コアタイム1の後のグループ討論の報告書は、コアタイム2でチューターのサインを得て、コアタイム2概要報告書と共に提出する。ただし、コアタイム2の後に設定されているグループ討論概要報告書はチューターのサイン無しで提出。

(報告書用紙は、コアタイムではチューターから配布、グループ討論はP CME 室職員が配布)

提出締め切り日：コアタイム実施日 17 時、

但し、コアタイム 2 の後のグループ討論概要報告書はグループ討論実施日 17 時

提出先：2 階 エントランスホール脇レポート提出ボックス

2) ポートフォリオ (各自) (テーマ 5 はなし)

ファイルの外側にテーマ番号 (1～5)、グループ番号、学籍番号、氏名を必ず明記する。自己学習・グループ学習報告用紙およびレポートにも、冒頭にグループ番号、学籍番号、氏名を明記すること。

レポートと学習報告用紙を含む (レポートは手元に電子ファイルまたはコピーを残しておくといふ。)

提出締め切り日：テーマ 1・4 月 25 日 (月) テーマ 2・5 月 13 日 (金)

テーマ 3・5 月 27 日 (金) テーマ 4・6 月 6 日 (月)

各日とも 17:00 締切

提出先：2 階 エントランスホール脇レポート提出ボックス

6. 評価

コアタイム・グループ討論の出席、チューターによる評価、ポートフォリオ (レポート、学習報告用紙を含む)、発表会における発表内容・質疑応答を総合的に評価して、成績判定を行う。

**コアタイム、グループ学習、全体演習、発表会に無断欠席した場合、およびポートフォリオが未提出のテーマがあった場合、単位が認定されない (医療概論 I は進級における単位取得必須科目である)。

人間性教育時間割表

	水	金
	4月13日	4月15日
3	総合科目Ⅰ（フレッシュマンセミナー）	医療概論Ⅰ 自習
4	医療概論Ⅰ オリエンテーション	医療概論Ⅰ コアタイム1-2
5	医療概論Ⅰ コアタイム1-1	医療概論Ⅰ 自習
	4月20日	4月22日
3	総合科目Ⅰ（フレッシュマンセミナー）	医療概論Ⅰ レポート共有
4	医療概論Ⅰ 全体演習	医療概論Ⅰ レポート作成
5	医療概論Ⅰ 全体演習	医療概論Ⅰ レポート作成
	4月27日	4月29日
3	総合科目Ⅰ（フレッシュマンセミナー）	
4	医療概論Ⅰ コアタイム2-1	昭和の日
5	医療概論Ⅰ 自習	
	5月4日	5月6日
3		医療概論Ⅰ グループ学習（共有）
4	みどりの日	医療概論Ⅰ コアタイム2-2
5		医療概論Ⅰ 自習
	5月11日	5月13日
3	総合科目Ⅰ（フレッシュマンセミナー）	医療概論Ⅰ コアタイム3-1
4	医療概論Ⅰ レポート作成	医療概論Ⅰ 自習
5	医療概論Ⅰ レポート作成	医療概論Ⅰ 自習
	5月18日	5月20日
3	総合科目Ⅰ（フレッシュマンセミナー）	医療概論Ⅰ グループ学習（共有）
4	医療概論Ⅰ 全体演習	医療概論Ⅰ コアタイム3-2
5	医療概論Ⅰ 全体演習	医療概論Ⅰ 自習
	5月25日	5月27日
3	総合科目Ⅰ（フレッシュマンセミナー）	医療概論Ⅰ コアタイム4-1
4	医療概論Ⅰ レポート作成	医療概論Ⅰ 自習
5	医療概論Ⅰ レポート作成	医療概論Ⅰ 自習
	6月1日	6月3日
3	総合科目Ⅰ（フレッシュマンセミナー）	医療概論Ⅰ 講義（大久保（一））
4	医療概論Ⅰ グループ学習（共有）	医療概論Ⅰ レポート作成
5	医療概論Ⅰ コアタイム4-2	医療概論Ⅰ レポート作成
	6月8日	6月10日
3	総合科目Ⅰ（フレッシュマンセミナー）	医療概論Ⅰ 講義（大原）
4	総合科目Ⅰ（フレッシュマンセミナー）	医療概論Ⅰ コアタイム5-1
5		医療概論Ⅰ 自習
	6月15日	6月17日
3	総合科目Ⅰ（フレッシュマンセミナー）	医療概論Ⅰ 発表会準備
4	医療概論Ⅰ レポート作成	医療概論Ⅰ 発表会準備
5	医療概論Ⅰ レポート作成	医療概論Ⅰ 発表会準備
	6月22日	6月24日
3	総合科目Ⅰ（フレッシュマンセミナー）	
4	医療概論Ⅰ グループ学習（発表準備）	医療概論Ⅰ 発表会
5	医療概論Ⅰ グループ学習（発表準備）	

2. 医療福祉現場でのふれあい等（早期体験実習）について

平成23年度 医療・福祉現場でのふれあい等 スケジュール 及び 担当教員(案)

2011.4

実施時期：1学期 火曜日 5～7時限

週	月 日	第1グループ		第2グループ		第3グループ		第4グループ		第5グループ	
		A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
	4月11日(月)	医学類入学時オリエンテーション(早期体験学習オリエンテーション) 13:00～14:05									
1	4月19日	附属病院でのふれあい実習(1)		見学実習1	見学実習2	コミュニケーション実習		入院体験実習	高齢者／妊婦 模擬体験	研究室紹介 1～5	
	(火曜日)	柳 久子、奥野純子		齋藤 誠	川内 康弘	前野 哲博		瀬尾 由広	渡邊 雅彦	榎 正幸	
2	4月26日	附属病院でのふれあい実習(2)		見学実習2	見学実習1	救急実習・リハビリ室等		高齢者／妊婦 模擬体験	入院体験実習	研究室紹介 6～10	
	(火曜日)	柳 久子、奥野純子		久永 明人	鶴岡 秀一	水谷 太郎 石井 良征 安田 貴 通藤 聖	江口 清	岡田 智志	岡本 史樹	榎 正幸	
3	5月2日	研究室紹介 11～15		附属病院でのふれあい実習(1)		見学実習1	見学実習2	コミュニケーション実習		入院体験実習	高齢者／妊婦 模擬体験
	(月曜日)	榎 正幸		柳 久子、奥野純子		川口 未央	大越 靖	前野 哲博		玉岡 晃	宮園 弥生
4	5月10日	研究室紹介16～20		附属病院でのふれあい実習(2)		見学実習2	見学実習1	救急実習・リハビリ室等		高齢者／妊婦 模擬体験	入院体験実習
	(火曜日)	榎 正幸		柳 久子、奥野純子		三島 初	本間 真人	佐藤 幸夫 南 学 関口 幸夫 近藤 匡	江口 清	関堂 充	大坂 佳子
5	5月17日	入院体験実習	高齢者／妊婦 模擬体験	研究室紹介 21～25		附属病院でのふれあい実習(1)		見学実習1	見学実習2	コミュニケーション実習	
	(火曜日)	鈴木 英雄	原 尚人	榎 正幸		柳 久子、奥野純子		武川 寛樹	稲川 智	前野 哲博	
6	5月24日	高齢者／妊婦 模擬体験	入院体験実習	研究室紹介 26～30		附属病院でのふれあい実習(2)		見学実習2	見学実習1	救急実習・リハビリ室等	
	(火曜日)	鎌田 浩史	石井 幸雄	榎 正幸		柳 久子、奥野純子		佐藤 誠	本間 晋介	田中 誠 佐々木 亮孝 下條 信成 田口 貴子	江口 清
7	5月31日	コミュニケーション実習		入院体験実習	高齢者／妊婦 模擬体験	研究室紹介 31～35		附属病院でのふれあい実習(1)		見学実習1	見学実習2
	(火曜日)	前野 哲博		横山 泰久	中山 慎	榎 正幸		柳 久子、奥野純子		鮎澤 聡	高橋 昭光
8	6月7日	救急実習・リハビリ室等		高齢者／妊婦 模擬体験	入院体験実習	研究室紹介 36～40		附属病院でのふれあい実習(2)		見学実習2	見学実習1
	(火曜日)	石川 栄一 河野 了 佐藤 明 吉田 健太郎	江口 清	大戸 達之	越智 寛幸	榎 正幸		柳 久子、奥野純子		大塚 盛男	石井 一弘
9	6月14日	見学実習1	見学実習2	コミュニケーション実習		入院体験実習	高齢者／妊婦 模擬体験	研究室紹介 41～45		附属病院でのふれあい実習(1)	
	(火曜日)	安部井 誠人	末富 崇弘	前野 哲博		田淵 経司	前野 貴美	榎 正幸		柳 久子、奥野純子	
10	6月21日	見学実習2	見学実習1	救急実習・リハビリ室等		高齢者／妊婦 模擬体験	入院体験実習	研究室紹介 46～50		附属病院でのふれあい実習(2)	
	(火曜日)	石津 智子	田中 優美子	土前泊 功 齋藤 知栄 中村 泰大 山下 創一郎	江口 清	佐藤 豊実	小畠 真奈	榎 正幸		柳 久子、奥野純子	

11 夏休み期間中の実習

入院体験実習：7月5日(火)岡本 芳史、7月12日(火)佐藤 晋爾

6月28日(火) 15:15～ オリエンテーション(サブユニット#3 外来新患エスコート実習、ユニット#7地域医療実習)

7月4日(月) 6時限 オリエンテーション(サブユニット#2 福祉現場等でのふれあい実習)

福祉現場等でのふれあい実習:			外来新患エスコート実習:			地域医療実習:		
7月5日(火)	柳 久子、奥野純子		7月5日(火)	大久保 英樹	甲斐 平康	後藤 行延	7月5日(火)～7月15日(金)	
7月6日(水)	柳 久子、奥野純子		7月6日(水)	松村 明	高橋 宏	夢田 浩	前野哲博、石丸直人、栗原宏、阪本直人	
7月7日(木)	柳 久子、奥野純子		7月11日(月)	新井 哲明	臼井 文一	田中 優子	(詳細については5月上旬に資料配布予定)	
7月8日(金)	柳 久子、奥野純子		7月12日(火)	朝田 隆	猪股 伸一	山縣 憲司		
7月11日(月)	柳 久子、奥野純子		7月13日(水)	大鹿 哲郎	溝上 裕士	詫間 浩		
7月12日(火)	柳 久子、奥野純子		7月14日(木)	坂本 透	小原 直	坂東 裕子		
			7月15日(金)	鬼澤 浩司郎	五藤 周	久倉 勝治		

病院実習における必要な態度

1. 服装・身だしなみ

- 白衣着用と名札を忘れずに
- 白衣の下の服装はカジュアルすぎないものを
- 服装は清潔で社会人らしさを心がける。(サンダルは不可)
- ヘアスタイルも清潔感と万人に受け入れられるものを
- ヒールの音が響かない靴が望ましい。
- スカートの丈が短すぎるもの、長すぎるものはさける。
- 個々の実習場所により、服装について指示がある場合は、それに従う。

2. 言動

- 廊下、エレベーターは患者さまを優先して
- 廊下を横に並んで歩かない。
- 私語は慎む。(特に患者さまの前では緊張感をもつ)
- 実習中に見聞きして得た患者情報を他人に話さない。
- 実習先の教職員に先ずあいさつをする
- 携帯電話の電源は OFF にする。

3. 心構え

- 気持ちは医師に準ずる(社会人の)つもりで
- 遅刻をしない(集合場所は前もって確認を)
- 病院は患者さまには治療の場であり、教職員には職場です。周りを不愉快な気持ちにさせない様に気を配って下さい。
- 遅刻、欠席する場合は早めに連絡する。(病棟の電話番号簿はこの資料の最後のページに掲載)

【2】 医療・福祉現場でのふれあい等

(早期体験学習 Early Exposure)

コース Coordinator : 大久保一郎・大原 信

1. 一般目標 GIO

医学を学び始めるにあたり、医学・医療の一部に触れその目指す方向を垣間見ることで、医学への学習意欲を高める。

2. 学習行動目標 SB0s

- 1) 看護師の視点から入院患者の生活を述べられる。
- 2) 福祉施設、医療施設それぞれの働きを自分の言葉で述べられる。
- 3) 医療機関に働く各職種の人々に出会い、各職種の仕事内容の概要を述べられる。
- 4) 患者の問診の基礎を述べられる。
- 5) BLS (Basic Life Support) をすすんで行える。
- 6) 高齢者／妊婦の人々の身体的条件を述べられる。
- 7) 入院患者の視点で入院診療を述べられる。
- 8) 外来患者の視点で大学病院の外来診療を述べられる。
- 9) 医学研究者に出会い、研究の意義や楽しさを述べられる。

3. 学習方法

- 1) 病棟で看護師や入院患者と接する実習をする。
- 2) 夏休みの3日間学外の福祉施設、保健施設、医療施設を訪問し実習する。
- 3) 医事課、リネンサプライ／ランドリー、材料部／滅菌、厨房、リハビリ、臨床医療管理、医療情報、感染管理室、医療福祉支援センター、などを周り現場の人から話を聴いて話す。
- 4) 患者とのコミュニケーション実習を SP (Simulated (or Standardized) Patient) に参加してもらい行う。
- 5) トレーナーを用いて BLS (Basic Life Support)を実習する。
- 6) 高齢者／妊婦疑似体験用装具を用い実習する。
- 7) 午後から翌朝まで入院し、蓄尿、点滴、病人食などを経験ないし疑似体験する実習を行う。
- 8) 夏休み大学病院外来で初診患者に付き添いその受診全てに付き合う実習を行う。
- 9) 基礎医学研究室、社会医学研究室、臨床医学研究室からの研究者の話を聴いて話す。

4. 早期体験学習時の服装、髪型などの注意点

若い医学生ですが、社会、特に患者さんから見たら立派な社会人であることを忘れてはなりません。皆さんの学習に協力してもらうことに報いるには、服装、髪型などに気を配るべきです。自分の好みを通すのではなく、周りの目から見て社会人としてごく普通であるようにということです。

また、言葉遣いや接しかたにも気を配るべきで、これらが医師としての大切な基本となってゆきます。具体的には、

- ・髪型：清潔で見苦しくないこと（極端な長髪やヘアスタイル、不潔な印象を与えるものを避ける）。
- ・服装：清潔でこざっぱりとしていること（ファッショナブル過ぎたり、不潔な印象や奇抜なものを避ける）。
- ・靴：ヒールが低く、音のしないものが望まれる。
- ・言葉：丁寧な言葉遣いでゆっくりと話すこと。
- ・態度：学生ではなく、社会人としてふさわしい態度で接すること。

ユニット# 1 医療・福祉現場でのふれあい

Coordinator : 柳 久子、奥野 純子 (社会医学系)

サブユニット# 1 附属病院ふれあい実習

Coordinator : 柳 久子、奥野 純子 (社会医学系)

1. 学習行動目標 SB0s

- 1) 生活環境としての病棟を理解する。
- 2) 患者さんが社会的背景を持つことを知る。
- 3) 医療が組織として行われていることを知る。

2. 実習日程

実習に関するオリエンテーションを4月11日(月)に受け、その後、各学生が2回の実習を病棟で行う。各日とも実習は5,6,7限、19時15分ごろまで。

3. 実習内容

○実習1回目

- 15:15～ 各自、指定された病棟に移動
看護師より、病棟内構造を中心としたオリエンテーション(30分程度)
自分で病棟内を歩いてみて、住環境として病院がどのような所か、
自分の生活環境を思い浮かべて比較しながら観察、体験する。
想定していること : トイレは気持ちよく使える構造か、
病室の清潔度、広さ、プライバシーの守られ方、入浴設備の使いやすさなど
その後 病棟看護師の指示に従って実習を行う。
想定されること : 食事の配膳、下膳、食事介助、食事量のチェック、
(例) 患者の移送(車椅子介助)、イブニングケアなど

○実習2回目

- 15:15 各病棟に移動
～18:00 前回の体験をもとに、自分でさらに体験してみたいこと、
観察したいことなどを取り入れながら、看護師の指示に従って行動する。
患者さんに話しかけ、お話をうかがうなど、意識的に関わってみる。
18:05～19:15 学生全員と教員とでカンファレンスを持ち、個々の学生の体験を交換する。
(学群棟1階4A103)、2グループに分かれて実施予定。

4. 実習上の注意事項

- 1) 遅刻、欠席の場合には実習開始時間前までに病棟に連絡すること。
- 2) 動きやすい服を着用し、その上に指定のエプロンと名札を付けること。清潔で音をたてない靴を履くこと(ゴム底が望ましい)。病棟内では携帯電話の電源を切ること。
- 3) 患者さんに対しては丁寧で、失礼のない言葉使いをすること。
- 4) 病棟で見聞きしたことは決して他に漏らさないこと(学生同士の話であっても、周囲で誰が聞いているか、分からない)。守秘義務があることを忘れてはならない。
- 5) 転倒したり、転落することないように、患者さんの安全には細心の注意を払うこと。
- 6) 病棟は患者さんの生活の場であることを忘れず、プライバシーを侵さないこと。
- 7) 病棟看護師の指示には従うこと。
- 8) 病棟に行ったとき、病棟から帰るとき、及びその他必要に応じて手を洗うこと。
- 9) 判断出来ないこと、困ったことなどあれば、病棟看護師または教員に相談すること。

5. 緊急連絡網（事故、その他）

緊急の場合には、病棟の責任者および担当教員に連絡すること。病棟に教員・ティーチングアシスタント（TA）がいない場合には へ連絡すること。

6. 担当教員

実習中は担当教員（柳、奥野）と TA が巡回し、必要に応じて指導を行う。困った点、疑問な点など遠慮なく話すこと。

7. 実習記録物

実習終了後にレポートを書くこと（A4 レポート用紙に2枚以上・ワープロ可）。

テーマ：「医療・福祉現場でのふれあいー附属病院実習で学んだこと」

提出：実習終了翌週の火曜日までに、医学系支援室教務担当レポートボックスへ。

8. 評価

評価は出席、実習態度、提出物及び病棟側からの評価を合わせて行う。

サブユニット#2 福祉施設等でのふれあい実習

Coordinator：柳 久子、奥野 純子（社会医学系）

1. 学習行動目標 SB0s

- 1) 地域で健康障害や加齢によって看護・介護を受けている人達の特徴を述べる。
- 2) これらの人達の視点から、健康生活の維持・増進に必要な条件を述べる。
- 3) これらの人達を取り巻く家族や社会について説明する。
- 4) 医療・福祉・行政の枠組みと連携について述べる。
- 5) 医療・福祉に関わる人達とのコミュニケーションを通して、社会における医療の位置づけについて述べる。

2. 実習日程

掲示の通り。実習のオリエンテーションは7月4日（月）6時限に実施する。学生は3班に分かれ、7月5日（火）から12日（火）迄の間に、各班2日間ずつ、指定の機関または施設で実習を行なう。

3. 実習内容

[訪問看護ステーションでの実習]

看護師等の家庭訪問に同行し、看護の補佐をする。

[介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、介護老人保健施設、グループホームでの実習]

施設長、生活指導員または実習指導担当者の指示に従いながら、高齢者の介護を行なう。

実習内容の例：入浴介助（浴場までの誘導、衣類の着脱、浴場での入浴介助、髪を乾かす、爪切りなど）、食事介助（配膳、下膳を含む）、排泄介助（トイレまで誘導、おむつ交換）、レクリエーション指導補助、話し相手など。

デイケア部門では上記に加えて、車での送迎補助、訪問入浴など。

4. 実習上の注意事項

- 1) 遅刻・欠席の際には実習開始時刻前までに実習機関または施設に連絡すること。
- 2) 指定の服装をすること。華美でなく（色に注意）機能的で見苦しくない服装を心がけ、エプロン、名

札（一部縫いつけの指示あり）を忘れないこと。着替えを用意すること。靴下をはくこと。手拭きタオル等を持参すること。

- 3) 指示のある施設で実習する学生は、上履き（運動靴）を持参すること。
- 4) 昼食は施設ごとの指示に従うこと。代金はリーダーがまとめて施設に支払うこと。
- 5) 対象者に対して失礼のない言葉づかいをすること。どんな障害、認知症があっても障害者、高齢者は一人の人間である。安易におばあさん、おじいさんなどと呼ばないように。
- 6) 実習中に見聞きした事は決して他にもらさないこと（学生同士の話しでも他に誰が聞いているかわからない）。
- 7) 対象者の安全には細心の注意を払うこと。特に必要があつてベッド柵をおろした時には、必ず上げる、人を乗せて車椅子を押しているときには前に傾けない、食事介助は相手の嚥下を確認しながらペースを考えて行なうなど。
- 8) 実習場は対象者の生活の場である。騒がしくしたり、プライバシーを侵さないこと。
- 9) 介助の前後には手洗いをすること。爪は短く切り、清潔に保つこと。
- 10) 判断出来ないこと、困ったことなどあれば、職員、TA、教員に相談すること。
- 11) 万一事故が起こった時には実習場の責任者にすぐに連絡すること。
- 12) 体調を整えて実習に臨み、実習中に居眠り（訪問看護の行き帰りの車中も含む）などをしないよう気をつけること。
- 13) 実習中携帯電話の電源を切ること。
- 14) 喫煙、飲食、駐車、駐輪は施設側が決めた場所のみで行うこと。
- 15) 車酔いをする者は、あらかじめ対応すること（特に訪問看護）。
- 16) 施設職員や担当者などに、きちんと挨拶すること。

5. 担当教員：柳 久子、奥野純子

担当教官およびティーチングアシスタント（TA）が実習施設を巡回します。疑問な点・要望は、遠慮なく話すこと。緊急連絡は、（柳携帯、PHS）まで。

6. 実習記録物

- 1) 実習中2日間の実習日誌をつけること。日誌にはその日に体験したこと、感想、疑問に思ったことなどを記録する。
- 2) 実習終了後にレポートを書くこと（A4のレポート用紙に2枚以上、ワープロ可）。
テーマは「医療・福祉現場でのふれあいー学外医療福祉施設実習で学んだこと」。
- 3) 実習に関するアンケート。

以上を実習終了後の一週間後までに教務担当まで提出すること。

（一班は7月13日（水）、二班は7月15日（金）、三班は7月19日（火）締切）

7. 評価

評価は出席、実習態度、提出物および実習場側からの評価を合わせて行なう。

サブユニット#3 外来新患エスコート実習

Coordinator : 大久保 英樹 (臨床医学系)

期 間 : 平成 23 年 7 月 5 日 (火)、6 日 (水)、11 日 (月)、12 日 (火)、13 日 (水)、14 日 (木)、15 日 (金)
計 7 日間

学生は上記の期間中で 1 日実習を行う。

1. 実習の概要

筑波大附属病院初診患者の初診受付より会計終了までのエスコートをおこなう。

2. 学習行動目標 SBOs

- 1) 患者の視点から病院外来の診療システムを述べる。
- 2) 患者の視点から見たときの大学病院受診のメリット・デメリットにつき述べる。
- 3) 一人の患者の心情を述べる。
- 4) 初診担当医師の患者に対する態度を見学し、医師としてあるべき態度はどのようなものか述べる。

3. グループ分け

学生は各回 16 名程度とする。各回 3 つのグループにわかれグループ長 1 名を設定する。指導教員は各グループに 1 名である。

4. 実習方法

- 1) 各回 16 名程度でおこなわれる。日程および担当教員名を確認する。
- 2) 夏休み実習のオリエンテーション時に概要が説明されるので趣旨を説明し病院の地理に通じておく。
- 3) 当日は、ロッカーへ荷物を置いた後に、朝 8 時 15 分までに (4A204) に集合し、担当教員より説明を受ける。必ず担当教員への連絡方法を確認する。
- 4) 外来受付にて、教員より新患受付中の患者の紹介をうける。
- 5) 学生は自己紹介の上、新患受付より、会計終了時あるいは病院出口、患者に役立つと思われる場合は自動車等に乗車するまで患者と行動をともにする。この間必要に応じて患者の補佐をおこなう。
- 6) 患者エスコート終了後、グループ長より担当教員にその旨連絡する。
- 7) エスコート中の行動、気づいたこと、感想を本実習の SBO を念頭においてレポートにまとめ、実習日翌週末までに教務担当まで提出する。

5. 注意事項

- 1) 清潔な服装・頭髪を心がけ、エプロンおよび名札着用のこと。
- 2) 患者が目上の存在であることを忘れず敬意を持って接すること。
- 3) 歩行時など患者の安全に十分注意を払うこと。高齢者は歩行速度が遅いことなどに留意し、患者に合わせた行動をとること。
- 4) 問題点が生じたときは早めに教員に連絡のこと。
- 5) エスコート中に知り得た患者個人に関する情報を他に漏らさないこと。
- 6) 遅刻・欠席の場合は必ず担当教員もしくは教務担当に連絡すること。
- 7) 病棟内で携帯電話の電源を入れないこと。
- 8) 終了時の教員への連絡を忘れないこと。

ユニット#2 病院見学実習

病院ツアー「病院の仕組みを知る」

Coordinator：大原 信（臨床医学系）

1. はじめに

病院で行われる医療は医師や看護師だけの力では実行することができません。皆さんが、将来、医師として働く現場がどのような人たちによりどのように支えられているかを知ることは、医療チームをリードする医師にとって重要なことです。これら多職種の人々の役割とシステムに精通し、上手に連携することは皆さんの行おうとする医療の質を高めることに大変役立ちます。

2. 一般目標 GIO

病院の仕組みを理解することにより、患者中心の無駄のない医療をチームで安全に行える医師になるための基本を身につける

3. 学習行動目標 SB0s

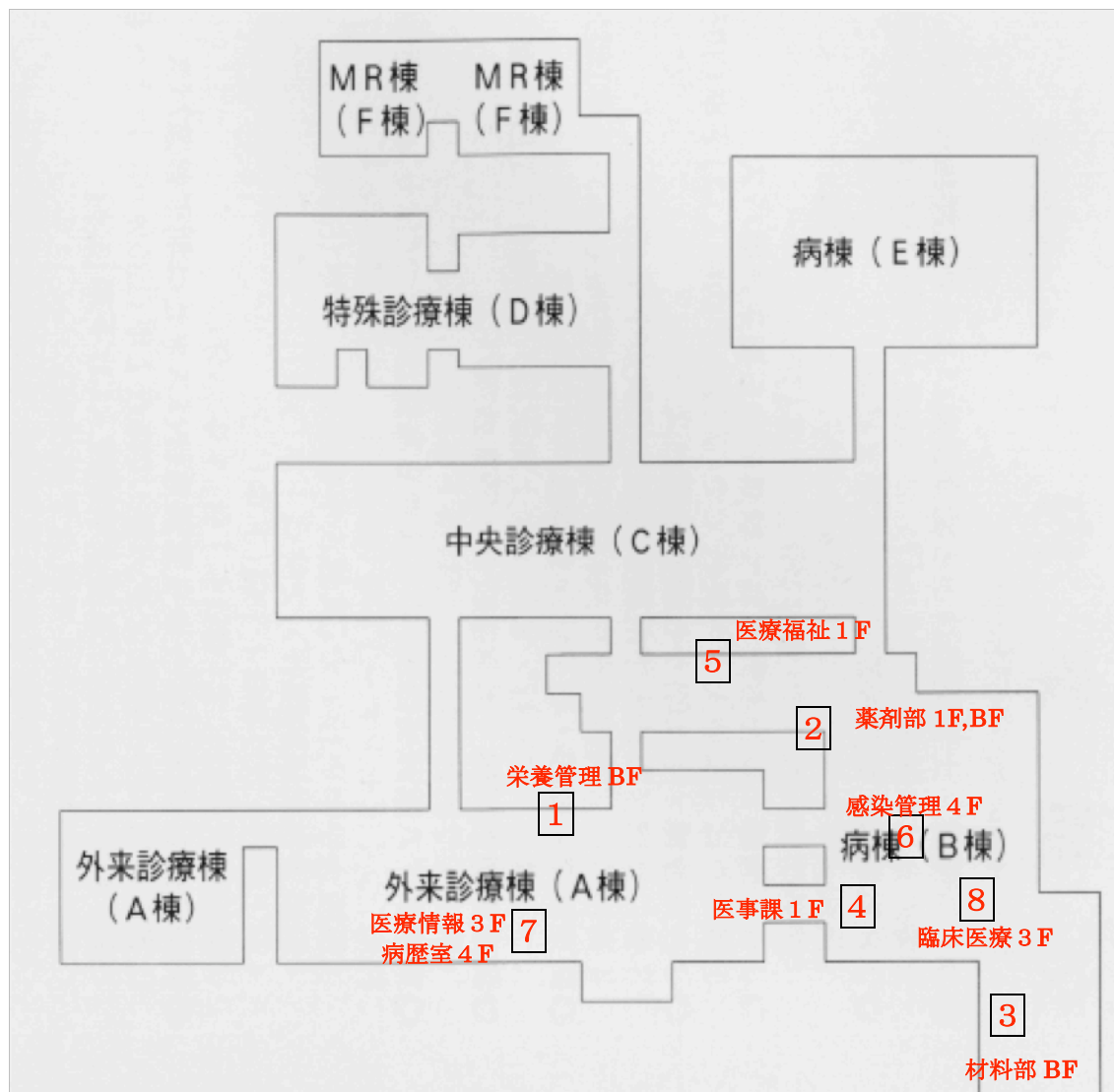
- 1) 病院の提供している各種サービスを分類して述べるができる。
- 2) 診療活動を支援している部門を列記することができる。
- 3) それぞれの部門がどのようなサービスを誰に対して提供しているかについて概略を述べるができる。
- 4) 医療現場を見ることにより、現在の問題点をいくつか数え上げられる。
- 5) チーム医療、医療連携の意義について説明できる。

4. 実習内容

集合場所：臨床講義室C、 集合時間：15:15

- 1) 2日間かけて、院内のバックヤード機能を担う代表的な部門を4カ所/日、診療全体を側面から支援する部門4カ所/日を順次ツアーし、その部門のスタッフとのコミュニケーションを通じて機能と役割を理解し、あわせて現場を見学することにより職場の環境について合理性や問題点を考察する（各20分程度）。
- 2) ガイド役の指導教員からは
 - ① このような病院の「パーツ」がトータルとしての病院の活動にいかに重要で不可欠か
 - ② 安全かつ快適な診療環境を実現するためにそれぞれのスタッフがどのような貢献をしているか
 - ③ 皆さんが医師として働く際これらのリソースをいかに有効に利用できるかなどにつき総括的な説明があります。
- 3) 実習中は白衣着衣と名札の着用を厳守する。
- 4) ツアー終了後、講義室（別途掲示）に一旦戻り、指定された様式のレポートをまとめ、実習日に教室内提出Boxに提出すること。

病院ツアーコースガイド



時間がずれる場合は移動前に次の部門に連絡をお願いいたします。

	部門	階	対応者	内線
コース 1	1. 栄養管理室／厨房	地下	岩部管理栄養主任	
	2. 薬剤部	地下	本間(真)副部長	
	3. 材料部	地下	川上 康教授、木村職員	
	4. 医事課	1 F	澤辺専門職員	
コース 2	5. 医療福祉支援センター	1 F	木澤講師／岩田 MSW	
	6. 感染管理室	4 F	人見室長／堤副看護師長	
	7. 医療情報部	3 F	大原部長、鈴木専門職員	
	8-1 臨床医療管理部	3 F	本間(寛)副部長／高梨師長	
	8-2 病歴室	4 F	高野室長佐藤診療情報管理士	

ユニット#3 コミュニケーション実習

Coordinator： 前野哲博（臨床医学系）
木澤義之（臨床医学系）

1. 一般目標 GIO

臨床医として重要な患者－医師関係の構築について学ぶことで医学生としてのモチベーションを高めるために、模擬患者とのロールプレイを通してコミュニケーションの意義及びその重要性を理解する。

2. 学習行動目標 SB0s

- (1) 医療面接の持つ3つの役割を説明できる。
- (2) 医療面接に必要な環境整備ができる。
- (3) 医療面接における、傾聴・受容・共感について説明できる。
- (4) 良好な患者－医師関係の構築の重要性を述べる。
- (5) 自分の話し方、言葉遣い、服装などが相手にどう受け止められているか、客観的に説明できる。

3. 実習内容

集合場所： 後日掲示 集合時間： 15:15

(必ず、白衣と名札を着用のこと。本オリエンテーション資料を持参のこと。)

(1) 進め方

3～4人×5～6グループで実習する。

①ロールプレイ

SP（模擬患者）の方に協力いただき、学生は全員が医師役で5分間のロールプレイを行う。
ロールプレイ終了後、SPを交えてディスカッションする。

②ロールプレイの進め方

- 1) 面接5分
- 2) 医者役振り返り
- 3) 観察者振り返り
- 4) SPの感想、シナリオ開示
- 5) 討論

③グループ討論、全体討論

ロールプレイ全体を通して気づいたこと、学んだことについてグループで話し合う。最後に全体討論を行う。

※SP（Simulated patient、模擬患者）

医療面接実習教育の現場において医学生の相手になって模擬の又は標準的な患者役を演ずる者である。患者・市民の立場のSPスタッフが、性格・生い立ち・生活環境などを詳しく設定した患者になりきって、ロールプレイを行う。振り返りでは、その患者として気づいたこと、感じたことを率直に医療者役にフィードバックする。

SPを用いる利点として、以下の点が挙げられる。

- ・いつでも、どこでも協力してもらえる
- ・何回でも繰り返して使える
- ・患者に関する議論がその場でできる
- ・本物の患者に害が及ばない

(2) タイムテーブル

15:15－15:25	準備・説明
15:25－15:45	ロールプレイ 1 回目
15:47－16:07	ロールプレイ 2 回目
16:10－16:30	ロールプレイ 3 回目
16:32－16:52	ロールプレイ 4 回目
16:52－17:05	グループ討論
17:05－17:20	挨拶全体発表・まとめ

ユニット#4 リハビリテーション実習、救急実習

実習方法：5時限目にリハビリテーション部実習を行い、その後、6時限目に救急実習を行う。

サブユニット#1 リハビリテーション実習

Coordinator: 落合 直之（臨床医学系）
江口 清（臨床医学系）

1. 一般目標 GIO

患者の日常生活に生じる不自由さを視野に入れたチーム医療を指向できるようになるために、見学と体験を通じて医療におけるリハビリテーションの意義を理解する。

2. 学習目標 SB0s

- 1) リハビリテーション医療を担う職種を説明できる。
- 2) 日常生活における基本的な動作の不自由な状態を指摘できる。
- 3) 心身の障害を有しながら自立度を向上させる意義を述べられる。

3. 学習内容

集合場所：附属病院C棟2F リハビリテーション部 集合時間：15:15（必ず白衣と名札を着用）

- 1) 見学：リハビリテーション部で仕事しているスタッフ（理学療法士、作業療法士、医師）の説明を聴き、事例を通して学ぶ。
- 2) 体験：松葉杖の使用、対麻痺患者の車椅子移乗など数名ずつが代表して行う。

リハビリテーション部実習終了後、引き続き、学群棟3階303臨床技能実習室で救急部実習を行う。

サブユニット#2 救急実習

Coordinator：水谷 太郎（臨床医学系）
安田 貢（臨床医学系）

1. 一般目標 GIO

一市民あるいは臨床医として、救命救急現場において一次蘇生が実践できるようになるために、Basic Life Support (BLS) の手法について学ぶ。

2. 学習行動目標 SB0s

- 1) Basic Life Support (BLS) の意義・重要性を理解する
- 2) BLS の手技を実践する。

3. 学習内容 集合場所：学群棟3階303 集合時間：16:45（必ず白衣と名札を着用）

- 1) BLS のビデオを見て、その手順を学習する。
- 2) ビデオの手順を見本にして、トレーナーで実際に BLS の実習を行う。
- 3) 一班5～6名 × 5回
- 4) 実習終了後、講義室（4A204）に一旦戻り、指定された様式のレポートをまとめ（リハビリテーション、救急実習共に）、実習日にエントランスホール脇のレポート提出 Box に提出すること。

※服装について

実習時は動きやすい服装（ズボン、スラックス、運動靴）を心がける。スカート、胸元の開いた服、サンダル、つっかけ、かがむと背中が見えそうな服、口紅はさけてください。

ユニット#5 高齢者/妊婦模擬体験実習・入院体験実習

Coordinator：瀬尾 由広（臨床医学系）
渡邊 雅彦（臨床医学系）

実習方法:A グループ、B グループにわかれ、1 週ずつ交代で体験実習を行う。入院体験については 頁
の名簿を確認する。

サブユニット#1 高齢者／妊婦模擬体験実習

Coordinator：渡邊 雅彦（臨床医学系）

1. 一般目標 G10

高齢者／妊婦の側に立った視点を実際の体験を通じて理解する。

2. 学習行動目標 SBOs

- 1) 妊婦と高齢者の身体的な不自由さとその程度を述べる。
- 2) 望ましい医師の在り方について述べる。

3. 実習方法

集合場所：4A104（学群棟1階104）

集合時間：15:15

注意事項：くつは緩められるスニーカーなどを履いて来て下さい。

- 1) 1回10～12名で実習する。

高齢者用・妊婦用装具のどちらかをグループ内でお互いに介助し合って装着する。その後、一定時間装具をつけたまま室内・室外でいろいろ行動してみる（天候により変更あり）。行動範囲は大学構内敷地内とする。

- 2) タイムテーブル

15:15－15:30 オリエンテーション、諸注意等を担当教員が行う

15:30－16:00 装具装着

16:00－17:00 実際行動

17:00－17:20 装具後片付け

17:20～ ディスカッション、まとめ

サブユニット#2 入院体験実習

Coordinator：瀬尾 由広（臨床医学系）

1. 一般目標 GIO

医学を学び始めるにあたり、入院を体験することにより、患者の立場と医療の現場を理解し、学習の意欲を高める。

2. 学習行動目標 SB0s

- 1) 入院患者の視点で診療のあり方を知る。
- 2) 病棟の生活環境を理解する。
- 3) 病棟内における入院患者の心情を述べることができる。
- 4) 附属病院における入院生活の長所と欠点を述べることができる。

3. 実習方法

集合場所：4A104（学群棟1階104）

集合時間：15:15

- 1) グループ分け 1回 9名×12回=108名
- 2) 期間 2011年4月19日～7月12日
火曜日の15:15より翌日水曜日の8:20まで
- 3) 準備する物：名札、オリエンテーション資料、「入院のご案内」、レポート用紙、湯のみ、箸、スプーン、洗面道具、パジャマ、スリッパか音のしないくつ、タオル等（「入院のご案内」参照）、飲み物
- 4) 持ち込み禁止：携帯型ゲーム機、iPodなど、マンガ類

4. 実習の流れ（タイムスケジュール）

- | | |
|---|--|
| 15:15 | オリエンテーションと病棟割当、諸注意などを担当教員が行う。 |
| 16:15 | 移動準備（点滴セットを受け取るなど）をして、担当教員と一緒に病棟へ移動する。 |
| ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・以下は病棟にて実習・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | |
| 16:30 | 指定の成人病棟に各自入院、指導者より入院の案内を受ける。
体温表と体温計を受け取り、ベッドを確認する。
看護師から蓄尿方法の説明を受け、遂行する。（uromesser） |
| 17:40 | 夕食
配膳車から自分の名前が記載された膳を抜き取り、食堂もしくは自室で食事をする。
食後は配膳車に膳を戻す。 |
| 18:30 | 学生は互に点滴セットを左前腕に絆創膏で貼り付ける。ボトルと点滴台につなぐ。（入浴は検温終了後に済ませ、点滴台を取り付ける。） |
| 19:00 | 検温
体温、血圧、脈拍測定を各自が行い、看護師が巡視に来たときに報告する。 |
| 21:00 | 消灯（就寝）
1～2時間毎に看護師が巡視に回ることを認識する。 |
| 5:30 | 起床
起床後、各自点滴を外して、看護師に患者の採血を見学したい旨申し出、見学する。 |
| 6:10 | 検温
体温、血圧、脈拍測定を各自が行い、看護師に伝える。各自、体重を測定する。 |

- 7 : 4 0 朝食
配膳車から自分の名前が記載された膳を抜き取り、食堂にて食事をする。
食後は配膳車に膳を戻す。
- 8 : 1 0 ベッド周囲を清掃する。
- 8 : 2 0 挨拶をして退院。
終了後、点滴セット、を教務担当へ返却。

「入院のご案内」を次の実習グループの次の人に手渡して下さい。

5. 実習上の注意事項

- 1) 欠席の場合は当日の 12 時 15 分までに教務担当 (Tel : 029-853-3019) に連絡のこと。
- 2) 病棟内ではパジャマを着用し、その上に学生用名札を付けること。
- 3) 同室の患者さんには体験実習であることを告げ、失礼にならないようにふるまうこと。
- 4) 病棟内では携帯電話を使用しないこと。医師が使用しているのは PHS であり、業務用のものである
ので誤解しないように。
- 5) 体験時は患者ではあるが、医師としての守秘義務は遵守すること。
- 6) 患者として病棟の規則を遵守すること。ナースステーションには入室しないこと。
- 7) 病棟内において、患者さんに急変があったときは看護師、医師に連絡する。
- 8) 退院時は身の回りを綺麗にし、看護師長、看護師らに挨拶すること。
- 9) 点滴セットは、退院後すぐに教務担当へ返却すること。

6. 緊急時の連絡

緊急の連絡の場合は、看護師および教員当直に連絡すること。
家族には入院先を連絡しておくこと。

7. 実習記録

実習中および実習終了後にレポートに記載する。A4 用紙を使用のこと。

テーマ：「医療・福祉現場でのふれあい等－入院体験で学んだこと」

題目は自由

提出期限：次週の火曜日までにエントランスホール脇レポート提出 Box へ

ユニット#6 研究室紹介

Coordinator： 榎 正幸（基礎医学系）

1. 一般目標 GIO

筑波大学の医学系研究室で行われている最新の研究内容を知り、医学研究の面白さと多様性を理解する。

2. 学習行動目標 SBOs

- 1) どのような研究が行われているかを列挙する。
- 2) 研究室紹介の内容に関して質問する。
- 3) 興味ある研究室の見学を申し出る。

3. 学習方法

4A204 講義室で、毎回5～6つのグループに研究紹介をしていただく。

日時	時間	グループ名	担当者（予定）	日時	時間	グループ名	担当者（予定）
4月19日	15:15～ 16:30	感染生物学	永田 恭介	5月24日	15:15～ 16:30	放射線腫瘍学	櫻井 英幸
		環境分子生物学	石井 哲郎			免疫学	渋谷 和子
		疫学	我妻 ゆき子			分子細胞生理学	岡村 直道
		睡眠医学	佐藤 誠			放射線生物学	坪井 康次
		内分泌代謝、糖尿病学	島野 仁			耳鼻咽喉科	田淵 経司
4月26日	15:15～ 16:30	生理化学	金保 安則	5月31日	15:15～ 16:30	神経内科	玉岡 晃
		眼科	加治 優一			再生医学	大根田 修
		システム神経科学	設楽 宗孝			実験病理学	鈴木 裕之
		保健医療政策学	近藤 正英			血液内科	千葉 滋
		法医学	本田 克也			診断生化学	浦山 修
5月2日 (月曜授業)	15:15～ 16:30	臨床薬剤学	本間 真人	6月7日	15:15～ 16:30	救急医学	水谷 太郎
		呼吸器外科	佐藤 幸夫			環境保健学	吉野 聡
		神経内分泌学	首藤 文洋			モデル動物学	八神 健一
		小児外科	小室 広昭			神経生物学	先崎 浩次
5月10日	15:15～ 16:30	形成外科	関堂 充			放射線診断・IVR	南 学
		循環器外科	松下 昌之助	6月14日	15:15～ 16:30	消化器外科	高野 恵輔
		脳神経外科	中井 啓			環境医学	新開 泰弘
		分子遺伝疫学・社会健康医学	土屋 尚之			腎臓内科	臼井 丈一
		神経生理学	吉田 薫			遺伝医学	有波 忠雄
5月17日	15:15～ 16:30	診断病理学	野口 雅之			遺伝子制御学	久武 幸司
		分子細胞生物学	入江 賢児	6月21日	15:15～ 16:30	膠原病・リウマチ・アレルギー	住田 孝之
		循環器内科	吉田 健太郎			臨床検査医学	磯部 和正
		地域医療教育学	前野 哲博			呼吸器内科	石井 幸雄
		整形外科	原 友紀			解剖学・発生学	高橋 智
		循環生理学	小金澤 禎央			麻酔科	猪股 伸一

ユニット#7 地域医療現場でのふれあい実習

Coordinator：前野 哲博（臨床医学系）

1. 学習目標

将来、病院一診療所間でつながりを意識した医療を提供できる医療人になるために、病院と地域で行われている医療の違いを知る第一歩として、地域医療現場の実験を体験する。

- 1) 地域で医療・介護・リハビリ等を受けている人たちとのふれあいを通して、その人たちの特徴を述べるができる。
- 2) 医療・福祉にかかわる人達（医療スタッフ、介護スタッフなど）とのコミュニケーションを通して、社会における医療の位置づけについて理解する。
- 3) 在宅で医療を受けている患者さんやその家族とのふれあいを通して、日常生活の中での医療・介護の関わりを知る。
- 4) 医療・福祉・行政の枠組みと連携について述べるができる。

2. 実習日と場所

・実習日

7月5日（金）～15日（金）の間の半日～1日間

・実習場所

大和クリニック（桜川市）、大森医院（常陸太田市 旧里見村）、利根町国保診療所（利根町）、笠間市立病院（笠間市）、宮田医院（筑西市 旧下館市）、サンシャイン・クリニック（つくば市谷田部）、小田内科クリニック（つくば市小田）、神栖済生会病院（神栖市）のいずれかで実習を行う。

- ・ 5月中旬までに、各施設の詳細の実習内容資料（受け入れ可能人数を含む）を配付し、実習希望施設の調査を行い、6月上旬に決定、掲示します。
- ・ 6月28日（火）15時15分～、オリエンテーションを行います。必ず参加して下さい。（教室は後日掲示）

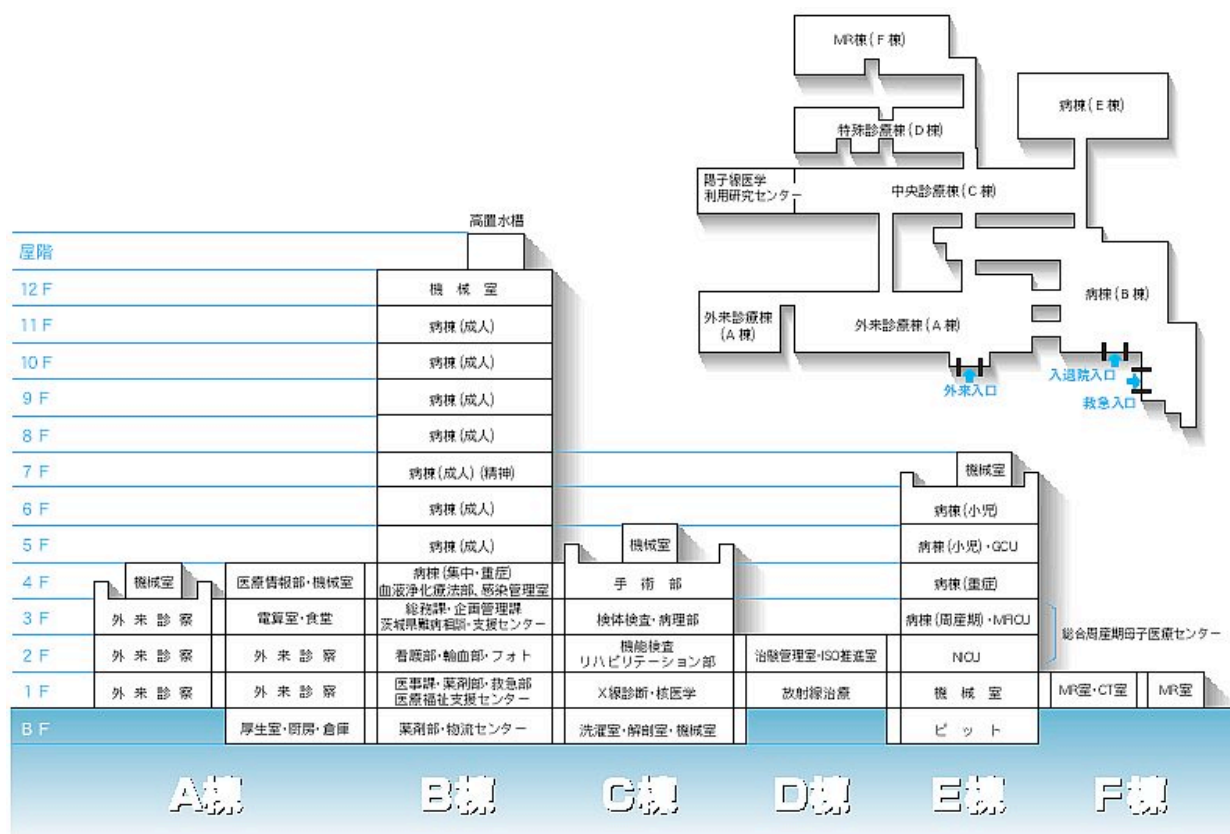
3. 全体的な注意事項

- ・ 交通費は各自負担です。
- ・ 持ち物は白衣、名札、上履き。
- ・ 服装・髪型は清潔感があり、患者さん・患者さん家族からも好感のもたれるようなものとする。
- ・ 体調不良など急な事情で欠席、遅れる場合には、必ず医学教務（TEL：029-853-3019）および各施設に連絡をすること。
- ・ スタッフや患者さんへの挨拶、自己紹介など礼儀に留意すること。
- ・ 患者さんのプライバシーへの配慮および実習中知り得た個人情報についての守秘義務を遵守すること。

4. 評価

実習参加状況（態度を含む）、レポート

筑波大学附属病院建物配置図



筑波大学附属病院外来案内図

